

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和2年度 第1回児童発達支援センター運営協議会
開 催 日 時	令和2年7月28日(火) 午後1時30分 開会、午後2時45分 閉会
開 催 場 所	健康福祉センター 3階 301会議室
議 長 氏 名	越智恵子、白木久美子
出席委員(者)氏名	越智恵子、茂木陽、早川等、新井真由美、植竹利之、細川大輔、野澤純子、池田拓、並木範一、桂川泰典、関剛規、白木久美子、清水繁
欠席委員(者)氏名	野口泰子、上野菜津子
説明者の職氏名	副参事 中村正幸
会 議 次 第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 市長あいさつ</li> <li>3 委員自己紹介</li> <li>4 事務局職員自己紹介</li> <li>5 正副会長選出</li> <li>6 会議の公開の決定</li> <li>7 議事 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 入間市児童発達支援センター運営協議会の役割について</li> <li>(2) 入間市児童発達支援センターについて <ol style="list-style-type: none"> <li>① 児童発達支援センターの概要及び事業計画について</li> <li>② 児童発達支援センターの今年度事業について</li> <li>③ 人員体制について</li> </ol> </li> </ol> </li> <li>8 その他</li> <li>9 閉会</li> </ol>
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	なし
配 布 資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入間市児童発達支援センター運営協議会条例(資料1)</li> <li>・入間市児童発達支援センター運営協議会の概要について(資料2)</li> <li>・入間市児童発達支援センター事業計画(資料3)</li> <li>・入間市児童発達支援センターリーフレット(資料4)</li> <li>・入間市児童発達支援センター 令和2年度事業の概要(資料5)</li> </ul>



## 会 議 録 (2)

### 議事の概要(経過)・決定事項

1 下記の議題について事務局から説明し、審議を行った。

委員からの質疑については、事務局が回答した。

- (1) 児童発達支援センター運営協議会の役割について
- (2) 児童発達支援センターの概要及び事業計画について
- (3) 児童発達支援センターの今年度事業について
- (4) その他

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
事務局	(委員及び事務局の発言が行われた部分のみ記述する) (委嘱式)
田中市長	(あいさつ)
委員全員	(自己紹介)
事務局全員	(自己紹介)
委員全員	(会長の選出)
越智会長	(会長就任あいさつ) 会長を仰せつかりました越智です。よろしくお願いいたします。平成25年、入間市自立支援協議会の2期目にこども部会が設置されてからずっとこの児童発達支援センターのことを議題にしてきました。27年には市の方に設置に関する提言を上げさせていただき、去年までは設置検討委員会、またこれから運営協議会に関わらせていただいととてもうれしく思います。 児童発達支援センター「ういず」ができて、切れ目のない支援がされて、子育てだけでなく親育てもできるということを嬉しく思います。 ここには専門家の皆様と、熱意ある公募委員の方がいらっしゃるの心強く思います。 なお、申し訳ありませんが本日3時からの仕事がありますので、午後2時40分頃失礼させていただきます。よろしくお願いいたします。
白木副会長	副会長になりました白木久美子です。子どもが元気キッズを利用してきました。親が情報をどれだけ共有できるか、これからのお母さんに支援が行き届くようにしたいと考えております。よろしくお願ひします。
事務局	これより議事の進行につきましては、越智会長が議長となり進行していただきますようお願いいたします。
越智会長	それでは議長を務めさせていただきます。 本日は13名の委員が出席していますので、入間市児童発達支援センター運営協議会条例第6条第2項の規定により本日の会議は成立しております。 次に次第6 会議の公開の決定を行います。事務局から説明をお願いいたします。
事務局	会議の公開につきましては、議長が委員の意見を聞き、審議会等の趣旨に照らし合わせて公開・非公開を決定することとなっております。 入間市情報公開条例では、基本的に「公開するもの」と定められています。ただし、公正かつ円滑な議事運営に著しい支障が生じることが予想さ

発 言 者	発 言 内 容
越智会長	<p>れ、会議の目的が達成できないと判断される場合は公開しないこともできます。</p> <p>当協議会の会議は、公開することにより公正かつ円滑な議事運営に著しい支障が生じることはないと思われまますので、公開することとしたいと思いますがご意見はございますか。</p>
委員全員 越智会長	<p>(異議なし)</p> <p>ご異議がないようですので、児童発達支援センター運営協議会は公開といたします。傍聴人がいましたら、入室をお願いします。</p>
事務局 越智会長 事務局	<p>本日の会議につきましては、傍聴希望者はありませんでした。</p> <p>続いて、会議録の署名について事務局から説明をお願いいたします。</p> <p>会議が公開となりますと、会議録も公開されることとなります。こちらへの署名については、議長が行うこととされておりますが、必要な場合には議長の他議長の指名した方1名以上が署名することとなっております。児童発達支援センター運営協議会の会議録の署名は、議長ともう1名にお願いしたいと思いがたがでしょうか。</p>
越智会長	<p>署名委員につきましては、出席者の中から名簿順でお願いしたいと思いがたがでしょうか。</p>
委員全員 越智会長	<p>(異議なし)</p> <p>それでは、今回は名簿順に茂木委員にお願いしたいと思いがたが。次回以降も名簿順にお願いいたします。欠席の際は次の委員にお願いすることといたします。</p>
事務局	<p>それではこれより議事に入ります。</p> <p>まず議題(1)の児童発達支援センター運営協議会について、事務局から説明をお願いします。</p> <p>資料1 児童発達支援センター運営協議会条例 資料2 児童発達支援センターの概要</p> <p>を用いて説明。</p>
越智会長	<p>ご意見等ありましたらお願いします。</p> <p>新井委員いかがでしょうか。</p>
新井委員	<p>検討委員会で出た意見がいよいよ形になって楽しみというのが率直な感想です。支援学校の教員として、親支援講座で本校を利用していただきたりして、地域の資源との連携が必要になってくると感じました。</p> <p>相談の部分で利用者が迷わないように、関係機関との連携がもう少し見えてくるといいのかなと思いがたが。</p>
植竹委員	<p>4ページ3番の地域支援事業のところの施設支援を早速希望させていただきまました。センターが希望施設を訪問してつながることができ、保育士を支援してくださるということで、また中身が濃くなつたと思いがたが。</p>
並木委員	<p>設置検討委員会から一貫して、気軽に相談できる体制づくりをお願いしてきまました。時間外や休日相談の取り組みにつながつたことは大変ありがた</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>たいと思います。</p> <p>利用実績を見ると、7月に時間外相談を1件、休日相談会は6組の利用があり、始めたばかりでこれだけの利用があるということは、それだけ求められていたということだと思います。今後も必要に応じて回数を増やす等ご検討いただければと思います。</p> <p>窓口を開けるだけでなく、児童発達支援センターを中心に保健・医療・福祉の連携を促進していただきたいと思います。</p> <p>質問ですが、日中一時支援を4歳のお子さんが利用されているということですが、どのような方ですか。</p>
事務局	<p>元気キッズ通所中のお子さんが、3時の活動終了後6時まで継続して利用されるものです。7月31日からの利用予定です。また8月からもう1名、小学生が利用予定です。</p>
並木委員	<p>日中一時支援の情報も利用希望の方に届いていないかもしれないので、実績が伸びないようであれば原因を検討して、利用者の側に立った運営をお願いいたします。</p>
桂川委員	<p>設置検討委員会で議論したことが多岐にわたり実現したということに感謝申し上げます。</p>
関委員	<p>1点教えていただきたいのですが、CLM研修というのはどんなイメージなのか関委員からお教えくださるとありがたいです。</p> <p>三重県立あすなる学園の中村みゆき先生を中心に進められている取り組みです。精神病院で児童の病床を持っているのは東京の梅が丘と三重県のあすなる学園しかなかった頃、入院してくるお子さんの状態や二次障害の様子を見て、小学校就学前からの支援の大切さに気付き、取り組み始めたシステムです。今回はCLMの全体像の説明を1日、その後の中村先生が実践されている保育園訪問の演習を1日受講することを通じて、お子さんがどういう部分で困っているのかを特定し、みんなでチェックリストを使ってどう支援するのかを、担任の先生が実際にできる支援を考えていく。これを2週間ごとに評価する。このサイクルを繰り返していくものです。講義だけでなく、実際に体験してみるということが非常に大事だと思います。</p>
越智会長	<p>まだ時間がありそうですので皆様一言ずつお願いいたします。</p> <p>申し訳ありませんがここで退席させていただきますので、この後の進行は白木副会長にお願いいたします。</p>
茂木委員	<p>皆さんがここまで頑張って児童発達支援センターを立ち上げられたということを実感しました。あとは専門的なものになるかも知れないが、マニュアルがあつて様々な施設に伝えていけると現場は楽になると思います。また、こういうところに相談できない方をどのように支援するか、親御さんが意識していない方も結構いらっしゃるのでは、保育園等に出張されると</p>

発 言 者	発 言 内 容
早川委員	<p>きにそういう部分も頑張れたらいいと思います。</p> <p>今年のコロナ禍の関係で、センターができたことがまだまだ学校関係者に浸透していません。校長会でもぜひPRをして、学校も積極的にセンターを活用させていただいて、研修にも積極的に参加して、じゅうぶんに連携を取れるように今年はしていきたいと思います。</p>
新井委員	<p>検討委員会から関わっていたのでどこへ紹介しようかなと考えるくらい今は身近に感じています。これからもよろしく願いいたします。</p>
細川委員	<p>うちの幼稚園にも支援が必要なお子さんがいて、他の療育センターへ通っていたがここで支援終了ということでお母さんが不安を感じています。お母さんが求めているのは、まさに切れ目のない支援。私が児童発達支援センターを紹介して通所することになり本当に良かったと思いますが、やはりまだ周知が充分ではないと感じましたので、今後の議題に挙げていただければと思います。</p>
野澤委員	<p>小学校入学後に発達障害が判明したお子さんのお母さんにインタビューすると、幼稚園の時に相談窓口の情報が欲しかったという声があるので、これから知れ渡っていくと良いと思いました。もうひとつは、概要の4ページ(4)「情報の管理活用」をぜひお願いしたいと思います。取り組みを進めている自治体と、個人情報関係で取り組むことができない自治体があります。診断のつかないうちからお子さんのケアをすることがとても重要なので、関係機関がここで情報を得ながら連携して仕事できるようになっていくとメリットが大きいと思います。経過観察のお子さんも年を経て支援が必要になることがありますから、保健センターの情報も共有できると良いと思います。</p>
池田委員	<p>児童福祉審議会では長く「子ども・若者未来応援プラン」を審議してきましたが、提言したレスパイトケアを入れていただいて感謝しております。児童虐待、いじめ、引きこもり等を巡る相談が多数生じています。人間関係の機能障害とも言えますが、日本では虐待が起きるとまず母子分離して一時的に身の安全を守ります。スウェーデン等の先進国では、家族丸ごと6か月くらいファミリーリハビリテーションセンターに入所して家族機能を回復させる取り組みが始まっています。家族丸ごと支援する時代になりましたので、レスパイトケアを大切に運営していただきたいと思います。</p> <p>入間市はコンパクトな街だし、いろいろな人が関わって家族丸ごと支援ができるのではないのでしょうか。</p> <p>委託部分と直営部分に分けての運営ということですが、これからの時代、委託で運営することは難しさもあると思います。コロナ禍の中で、リモートによる支援もしくは孤立防止のための電話支援の説明がありました。支援としてカウントできないと児童発達支援センターの経営にも関わ</p>

発 言 者	発 言 内 容
並木委員	<p>ってくると思います。委託先の経営が逼迫することのないような行政のバックアップもお願いいたします。</p> <p>「ういず」の事業は障害福祉領域と重なる部分もあり、民間事業者もいる。公設の児童発達支援センターでしかできない業務として、重度の方々への対応や支援につながっていない方への働きかけが必要だと思います。地域の皆様や我々障害福祉の相談支援事業者も協力しながら取り組んでいければと思っております。</p>
関委員	<p>国リハ学院の研修で東大の熊谷晋一郎先生を招いた際、当事者支援の立場で「自立の反対は依存」という考え方に疑問が投げかけられました。これからセンターが「自立」「集団生活適応」に取り組む時に、そもそもそれが一番苦手なお子さんなので、方向性をきっちり見出しておかないと違ってしてしまうと思います。本田秀夫先生は「大人の指示に従う習慣を身につけなくていい」「大勢の人がやっているというだけで同じように振る舞わせようとしなない」「最低限のルールを守ろうとする意欲を育てる」という方向を示しています。</p>
清水委員	<p>これから連携をしていく上で、14万人規模というのは動きやすいはず。お子さん、家族、職員の困っていることを見ていただければいいのかなと思います。</p> <p>長年子どもの育成に携わってきました。多くの児童・保護者と関わる中で、支援の必要なケースも多々見ましたが、組織の末端の一員としてなかなか解決に至りませんでした。退職後嘱託として相談員になり、各区に設置された相談室の中で心理職と一緒に対応しましたが、今考えると親子対相談員という関係で、支援体制を作るところまではいきませんでした。</p>
白木副会長	<p>今、発達障害に世間の注目も集まり、児童が地域の中で成長していくための支援の必要性を感じていました。入間市の児童発達支援センターは子どもさん親御さんの大きな力になると思います。微力でもセンターの運営に役立ちたいと思っています。</p> <p>皆さんのご意見では、当事者だけでなく、その周りの各機関へのPRの必要性を感じました。就学前からの支援の必要性を再認識できました。家族丸ごと支援、人間関係の障害への支援が他の自治体でもなかなかないということですので、入間市としてはチャンスなのかなと思いました。私は当事者でもありますが、この委員会をお母さんたちにも聞かせてあげたいと感じます。この委員会によって「ういず」がいい方向に進んでほしいと思います。地域と「ういず」が一緒にどう育っていくかが大事だと思います。</p> <p>それでは、全ての議題が終わりましたので、越智会長に代わって進めさせていただきます。委員の皆様のご協力ありがとうございました。</p>



発 言 者	発 言 内 容
司会	越智会長、白木副会長、議長を務めていただきましてありがとうございました。
事務局	<p>次第8 事務連絡ですが、事務局より何かありますでしょうか。</p> <p>今後の予定についてお伝えいたします。資料7 日程表をご覧ください。今年度3回の会議を予定しております。2回目を11月13日の金曜日、午後1時30分から3時、会場は健康福祉センター301会議室です。3回目は3月12日金曜日、午後1時30分から同じ会場となります。ぜひご予定いただきますようお願いいたします。</p>
司会 白木副会長	<p>最後に白木副会長より閉会のご挨拶をお願いします。</p> <p>お忙しい中ご参加いただきありがとうございました。次回11月13日にもぜひご出席をよろしく願いいたします。皆様大変お疲れ様でした。</p>

議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和 2 年 10 月 1 日

議 長 の 署 名

越智 恵子

議長が指名した者の署名

白木 陽